

令和4年度 決算報告

町の1年間の予算がどのように使われたのか、その収入(歳入)と支出(歳出)の内容を明らかにしたものが決算です。令和4年度の一般会計及び特別会計の決算が9月に開催された町議会定例会において認定されました。

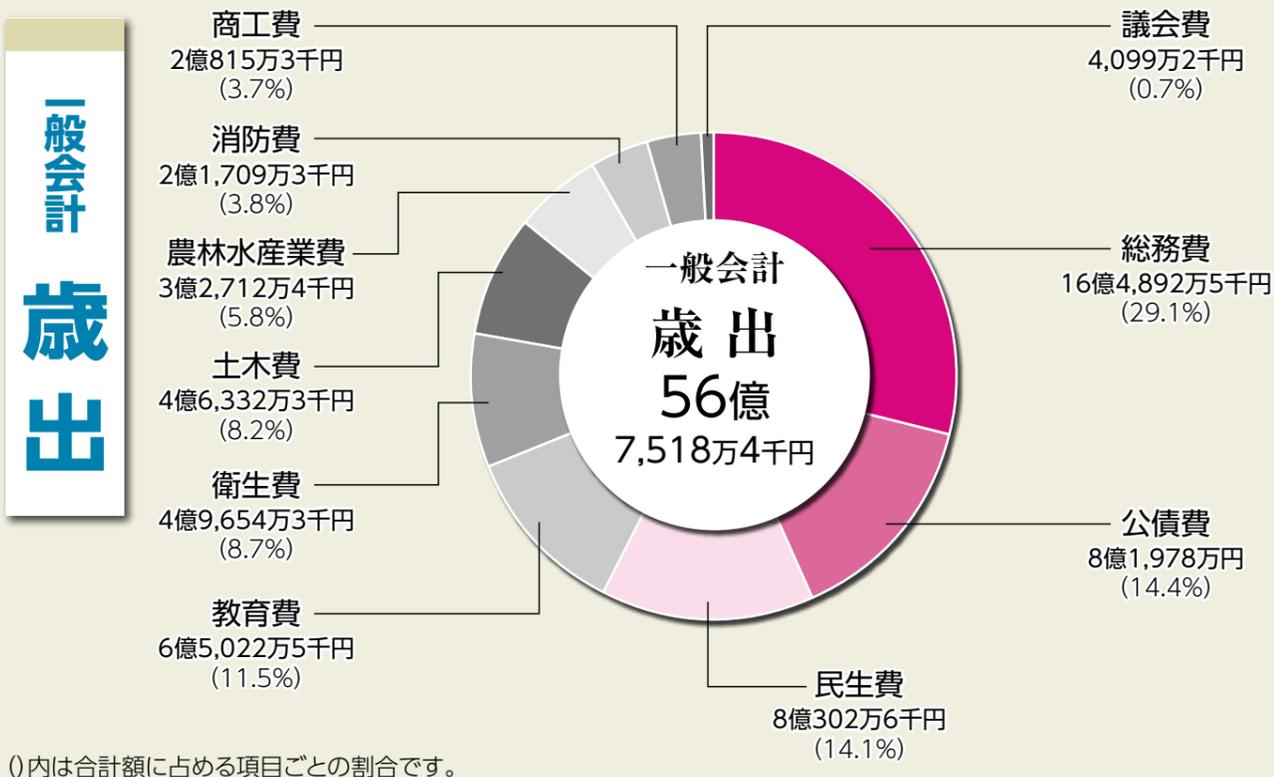
そこで、今月号では決算の概要を公表するとともに、納められた税金がどのように使われているのか、また財政指標から町の財政がどのような状況となっているかをお知らせします。

令和4年度の主な事業

- 清里小学校大規模改修事業 2億1,771万6千円
- 清里高等学校総合支援対策事業 1,352万4千円
- 斜里地区消防組合清里分署負担金 4,602万7千円
(高規格救急自動車更新事業)
- コミュニティセンター改修工事補助事業 6,161万7千円
- 除雪車更新事業 7,192万円
- 高齢者等の暖房費等支援事業 508万6千円
- 介護老人保健施設特殊入浴設備購入事業 1,100万円
- 多面的機能支払交付金事業 1億1,051万8千円
- 新型コロナウイルス感染症緊急対策事業 1億4,361万9千円

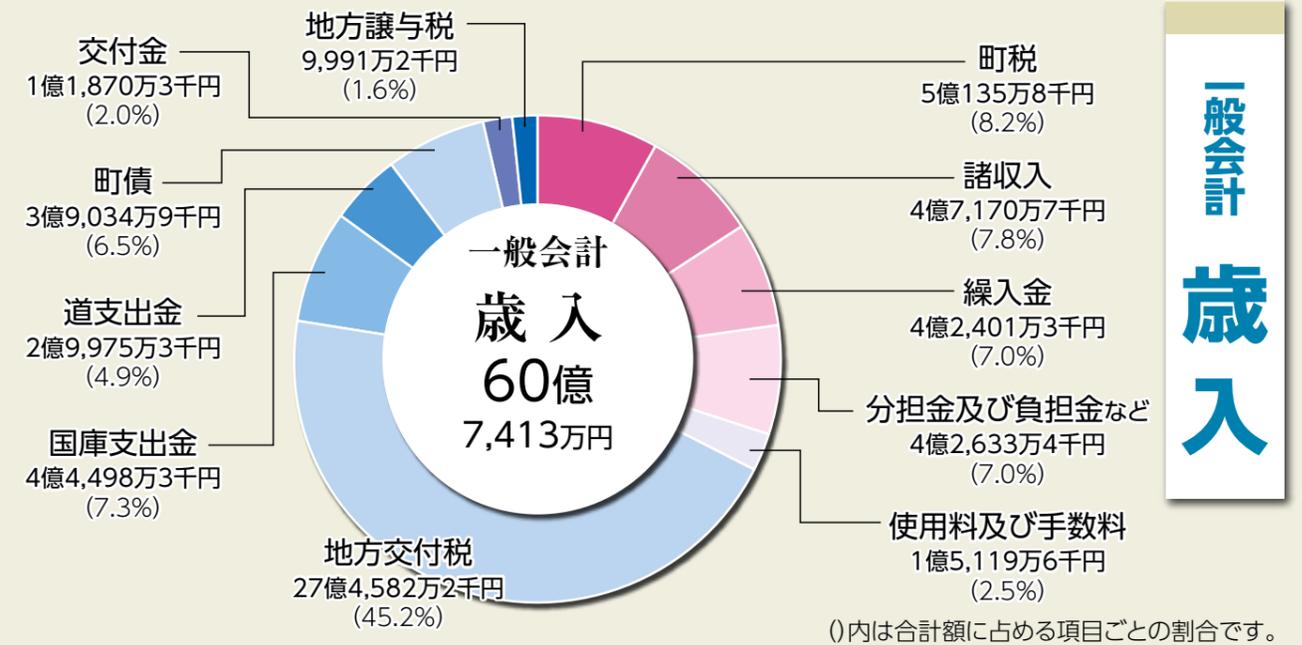
【新型コロナウイルス感染症緊急対策事業の主な内訳】

- 感染症対策社会福祉法人補助事業
- 飲食業消費拡大支援事業
- 肥料・飼料高騰対策支援補助事業 など



()内は合計額に占める項目ごとの割合です。

歳出総額は56億7,518万4千円で、前年度より16億6,564万4千円減少しました。目的別で見た内訳は、総務費が最も多く、歳出の約3分の1を占める16億4,892万5千円でした。また、農林水産業費は、産地パワーアップ事業補助の完了により、前年度と比べて13億9,524万8千円の減少となりました。



()内は合計額に占める項目ごとの割合です。

歳入総額は60億7,413万円で、前年度と比べて16億1,279万3千円減少しました。その要因としては、産地パワーアップ事業補助(地域の営農戦略に基づき行う産地の高収益化に向けた取り組みを支援する事業)の完了により、関連した北海道からの補助金の交付が終了したためです。また、国から交付される地方交付税は、2,211万7千円増加しています。

歳入の内訳を見ると町税や使用料など、町が独自に確保している自主財源の割合が32.5%、地方交付税や国・道交付金などの依存財源の割合が67.5%となりました。

●特別会計

特別会計は、特定の事業を行うために一般会計と区分する必要がある場合に設けられる会計です。清里町では、清里焼酎の製造及び販売を行うための焼酎事業特別会計など7つの特別会計があります。

区分	歳入	歳出
介護保険事業特別会計	4億7,760万7千円	4億5,183万2千円
国民健康保険事業特別会計	6億7,619万9千円	6億6,870万8千円
後期高齢者医療特別会計	8,173万5千円	8,164万5千円
簡易水道事業特別会計	6,273万円	5,811万1千円
農業集落排水事業特別会計	2億2,568万4千円	2億1,963万4千円
焼酎事業特別会計	1億2,128万3千円	1億1,076万円
小水力発電事業特別会計	9,400万4千円	9,400万4千円

●健全化判断比率

「財政健全化比率等」が法律で定められた基準を上回ると、国の指導・監督の下で財政の再建を行うこととなり、厳しい財政運営をしなければなりません。

清里町の令和4年度決算に基づく数値は、いずれも基準値以下であることから問題はありますが、健全財政維持のため、引き続き限られた財源を有効に活用していく必要があります。

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
清里町	—	—	8.7%	—
早期健全化基準	15%	20%	25%	350%
再生基準	20%	30%	35%	基準なし

特別会計	資金不足比率	経営健全化基準	備考
簡易水道事業特別会計	—	20%	収支黒字
農業集落排水事業特別会計	—		収支黒字